

JAPAN
VENOUS TALK 2025



THE 15TH MEETING OF
KANSAI CVT

Program

VEIN WEEK

**Dedicated to
the Next
Generation
Who Make It**

DATE April 5, 2025

Program at a Glance

Tenpyo Hall – Japan Venous Talk 2025 –		Meeting Room 206 – The 15th Meeting of Kansai CVT –	
9:00	Reception		
9:25	Opening Ceremony		
9:30	9:30~10:30 Oral Presentation – 1 (60min) Chairman: 小川智弘・辻 明宏 Presenter: 高井佳菜子・坂井勇仁・手島英一・兵頭永一・林 浩也・石井洋光	10:00~10:50 Oral Presentation – 2 (50min) Chairman: 北川孝道・吉岡明治 Presenter: 宮内元樹・中山由香利・川本朋子・菊谷光代	
10:30	Break (15min)		
10:45	10:45~11:45 Vein Week 2025 Japan – Indonesia Joint Session (60min) *Internet Distribution Chairman: Tomohiro Ogawa・Takashi Yamamoto Presenter: Hitoshi Kusagawa・Radi Noorsyawal・Hendra Wibowo・Yuliard Limengka・Daisuke Akagi	11:00~12:00 Break (10min) リンパ管講演+ライブ(60min) Chairman: 松尾 汎 Presenter: 原 尚子	
11:45	Break (15min)		
12:00	12:00~12:30 Luncheon Seminar – コヴィディエンジャパン株式会社 (30min) Chairman: 杉山 悟 Presenter: 広川雅之		
12:30	Break (15min)		
12:45	12:45~13:45 Sponsored Seminar 1 – 株式会社リムフィックス (20min) Chairman: 村田浩子 Presenter: 今井崇裕・福岡愛実 Sponsored Seminar 2 – 東レ・メディカル株式会社 (20min) Chairman: 岩井武尚 Presenter: 原 尚子 Sponsored Seminar 3 – サイトンジャパン合同会社 (20min) Chairman: 小川智弘 Presenter: 山本 崇	12:45~13:30 静脈不全講演(45min) Chairman: 小谷敦志 Presenter: 小畑貴司	
13:45	Coffee Break (30min)		
14:15	14:15~14:55 Oral Presentation – 3 (40min) Chairman: 西本裕二・葛井総太郎 Presenter: 鬼頭祥悟・寺田和始・三宅ヨシカズ・小田晃義	13:40~14:40 CVTナースセッション(60min) Chairman: 小畑貴司・井上由美子 Presenter: 清水砂奈恵・長田知香・黒瀬満梨奈・越野理和・井上由美子	
14:55	Break (10min)		
15:05	15:05~15:45 Esthetic Phlebology (40min) Chairman: 金子 完・坂本一喜 Presenter: 諸國真太郎・古林圭一・金子 完・佟 曉寧	14:45~15:45 透析シンポジウム(60min) Chairman: 小林大樹・佐藤 洋 Presenter: 坂田久美子・小林大樹・木船和弥・矢野健太郎	
15:45	Break (15min)		
16:00	16:00~17:30 Hands on Session (90min) Moderator: 赤木大輔・川崎大三 Faculty: 小谷敦志・武内謙輔・手島英一・今井崇裕・山本 崇 共催: コヴィディエンジャパン株式会社 東レ・メディカル株式会社 株式会社メディコスヒラタ グンゼメディカル株式会社 サイトンジャパン合同会社	16:00~17:00 ハンズオン(60min) 進行: 北川孝道 Moderator: 藤原英将・吉岡明治・小林大樹・井上由美子	
17:30	Closing Ceremony		
18:00			



役員

Executive Committee

顧問 : 孟 真 (並木クリニック / 横浜市立大学 外科治療学 臨床教授)

会長 : 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科センター)

副会長 : 山本 崇 (やまもと静脈瘤クリニック)

役員

梅津 道久 (東北大学病院 総合外科 血管外科)

葛井 総太郎 (西の京病院 血管外科センター)

金子 完 (金山駅前心臓と血管のクリニック・金子医院)

川崎 大三 (森之宮病院 下肢救済センター 循環器内科)

坂本 一喜 (なんば坂本外科クリニック)

武内 謙輔 (たけうち静脈瘤クリニック)

辻 明宏 (国立循環器病センター 心臓血管内科部門 肺循環科)

手島 英一 (福岡和白病院 血管外科・血管内治療部)

西本 裕二 (市立豊中病院 循環器内科)

林 浩也 (国立循環器病センター 心臓血管内科部門 肺循環科)

Directors

小谷 敦志 (近畿大学奈良病院 臨床検査部)

北川 孝道 (奈良県総合医療センター 臨床検査部)

黒瀬 満梨奈 (西の京病院 看護部)

中山 佳之 (住友病院 手術室)

吉岡 明治 (天理よろづ相談所病院 臨床検査部)

General Secretary

木村 尚貴 (大阪労災病院 中央検査部)

顧問挨拶



顧問 孟 真
日本静脈学会 理事長

Japan Venous Talk 2025 の開催に向けて

国際静脈週間イベント“Vein Week”の開催おめでとうございます。我が国の伝統ある血管外科・静脈外科の世界において、時に“専門家の高齢化から学問の停滞”が問題視されています。私は以前より、“伝統と経験”を継承しつつ、未来を担う若手の医療従事者が主体的に活躍できる場を作っていきたい、と願っておりました。今回、若手が中心となる会の設立にあたり、この領域で長年培ってきた経験を伝えるべく、私が協力することとなりました。本会の設立メンバーは“若手”が中心であり、まだまだ向こう見ずに突っ走り“心配”なところも多々あり、老婆心からあえて「顧問」を引き受けました。「エビデンスと経験に基づいた質の高い静脈およびリンパ疾患の診療を追求する」を目標に、世界へ目を向けて自由に活動していただきたく思います。

同時に、私を含め“若手を脱した先生方”に於かれましては、将来の静脈学・リンパ学を担う“若手”の皆さんをどうか暖かく応援し、経験しながら成長してゆく姿を見守っていただければと切に希望します。何卒宜しくお願い申し上げます。

代表理事挨拶



大会長 今井 崇裕
西の京病院 血管外科センター

この度、2025年4月5日（土）にJapan Venous Talk 2025（併催：Vein Week 2025）を奈良コンベンションセンターにおいて開催させていただくことになりました。本総会が奈良市で開催されることとなり、大変光栄に思います。テーマは「Dedicated to the Next Generation Who Make It」とさせていただきます。

近年変化が著しい静脈疾患領域において、海外医師やメディカル・スタッフのオンラインによるプレゼンテーションなどを盛り込み、グローバル化の流れに沿った国や地域といった物理的な垣根を超え、新たな知識を吸収するだけでなく、次世代の医師、臨床検査技師、看護師の新たな交流の場として捉えていただければと思います。

本会の開催には日本静脈学会理事長である孟 真先生にご尽力いただき、Vein Week 2025を併催いたします。下肢静脈瘤、静脈血栓塞栓症等の領域において、とくに質の高い発表が聞けると思います。

4月上旬は会場から程近い奈良公園で、小ぶりで上品なナラノヤエザクラを楽しめます。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

参加者へのご案内

【参加費のご案内】

医師	6,000 円
コメディカル	2,000 円
企業関係者	6,000 円

【プログラム】

参加登録をされた方には受付でプログラムを1冊お渡しいたします。

【ランチョンセミナー】

ランチョンセミナーにご参加される方には、昼食を用意させていただきます。

【コーヒー・ブレイク】

13:30～14:30の間、会場内で軽食をお出しします。

【懇親会】

日時：2025年4月5日（土） 18:30～20:30

会場：シュラスコ料理 スー

奈良県奈良市四条大路1丁目4-45 ホテルアジール・奈良アネックス1F

0742-32-2577

参加費：5,000 円

懇親会に参加ご希望の方は事前にお伺いしております。当日参加ご希望の方は、スタッフへお声掛けください。

【携帯電話の使用について】

講演会場内での携帯電話の通話は原則禁止させていただきます。また、会場内では電源をOFFにするかマナーモードに設定してください。

【撮影及び録音について】

外部に委託したカメラマンが当日撮影を行います。学会終了後にホームページへ撮影した写真をアップロードします。

写真はホームページ（右のQRコード）からダウンロードが可能です。



【単位取得者の方へ】

本会への参加で、下記の更新クレジットを取得できます。

CVT 更新制度	4 単位(参加)	4 単位(発表)
日本フットケア・足病医学会	1 単位	
リンパ浮腫療法士	1 単位	

閉会后、単位取得証明書を受付でお渡しいたします。

PROGRAM

Japan Venous Talk 2025

2025年4月5日(土)

奈良県コンベンションセンター 天平ホール

9:00 - 12:00 **Reception**

9:30 - 10:30 **Morning Session**

天平ホール

9:25 - 9:30 Opening Ceremony

今井 崇裕(西の京病院 血管外科センター)

9:30 - 10:30 Oral Presentation 1 (60min)

Chairman: 小川 智弘(福島第一病院 心臓血管外科)

: 辻 明宏(国立循環器病研究センター)

1. 「人工血管による V-V bypass にてシャント修復をした 2 例」

Speaker: 高井 佳菜子(市立東大阪医療センター 心臓血管外科・集中治療部)

2. 「ICG リンパ管造影による全身の体表面集合リンパ流解剖の検証～各所のリンパ流境界を中心に～」

Speaker: 坂井 勇仁(社会医療法人博愛会 相良病院)

3. 「間歇的空気圧迫法のカフ種別による静脈血流のエコー評価」

Speaker: 手島 英一(福岡和白病院 血管外科・血管内治療部)

4. 「遅延型アレルギー反応予防に対する CAC 治療直後の抗アレルギー剤投与は有効か？」

Speaker: 兵頭 永一(兵頭内科眼科・ハートクリニック)

5. 「急性深部静脈血栓症に対する新規血栓吸引デバイス使用経験」

Speaker: 林 浩也(国立循環器病研究センター)

6. 「大伏在静脈レーザー焼灼時の筋膜上病変の検討」

Speaker: 石井 洋光(石井病院 外科・血管外科)

— Break (15min) —

10:45 - 11:45 **Vein Week 2025 *ZOOM 配信** 天平ホール

10:45 - 11:45 Japan - Indonesia Joint Session (60min)

Chairperson: Tomohiro Ogawa (The Vice President of the Japanese Society of Phlebology)

: Takashi Yamamoto (Yamamoto Vein Clinic)

1. 「Large-scale questionnaire survey on adverse events of cyanoacrylate closure in Japan
- Current results and progress with discussion - 」

Speaker: Hitoshi Kusagawa (Matsusaka Ota Clinic)

Discussant: Yuliardy Limengka

2. 「Acute Lower Extremity Deep Venous Thrombosis : How to Deal With It」

Speaker: Radi Noorsyawal (Raden Mattaher Jambi Province Hospital, St. Theresia Jambi Hospital and Baiturahim Jambi Hospital)

Discussant: Hiroya Hayashi

3. 「Iliac Venous Stenting for Reflux with Venous Ulcer : Stenting vs Ablation」

Speaker: Hendra Wibowo (Primaya Hospital, Royal Progress Hospital dan Eka Hospital in Jakarta, the capital city of Indonesia)

Discussant: Yuji Nishimoto

4. 「Efficacy and Safety of Different Types of Thermal Ablations in Indonesia: An Early Prospective Study」

Speaker: Yuliardy Limengka (Mayapada Hospital Kuningan, Jakarta, and Beyoutiful Aesthetic Center, at T-Space Bintaro)

Discussant: Eiichi Teshima

5. 「Novel insights into body figure of patients in cyanoacrylate closure of varicose veins」

Speaker: Daisuke Akagi (The University of Tokyo, Graduate School of Medicine)

Discussant: Radi Noorsyawal

— Break (15min) —

12:00 - 12:30 Luncheon Seminar	天平ホール
---------------------------------------	-------

12:00 - 12:30 Luncheon Seminar - コヴィディエンジャパン株式会社 (30min)

Chairman: 杉山 悟 (広島はくしま病院)

「最近のお茶クリ流 CAC 治療～日々進化する術式と実践的アドバイス～」

Speaker: 広川 雅之 (お茶の水血管外科クリニック)

—Break (15min)—

12:45 - 13:45 Sponsored Seminar	天平ホール
--	-------

12:45 - 13:05 Sponsored Seminar 1 - 株式会社リムフィックス (20min)

Chairman: 村田 浩子 (畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 教授)

1. 「9年目を迎えた NARA ソックス・プロジェクト 今後の展開」

Speaker: 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科センター)

2. 「私とものづくり～学生時代を振り返って～」

Speaker: 福岡 愛実 (畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 卒)

13:05 - 13:25 Sponsored Seminar 2 - 東レ・メディカル株式会社 (20min)

Chairman: 岩井 武尚 (つくば血管センター 顧問)

「ここまで見える！リンパ管エコー」

Speaker: 原 尚子 (JR 東京総合病院 リンパ外科・再建外科)

13:25 - 13:45 Sponsored Seminar 3 - サイトンジャパン合同会社 (20min)

Chairman: 小川 智弘 (福島第一病院 心臓血管外科)

「BECAUSE RESULTS MATTER～Spider Web 治療の最前線～」

Speaker: 山本 崇 (やまもと静脈瘤クリニック)

— Coffee Break (30min) —

14:15 - 15:45 Afternoon Session	天平ホール
--	--------------

14:15 - 14:55 Oral Presentation - 3 (40min)

Chairman: 西本 裕二 (市立豊中病院 循環器内科)

葛井 総太郎 (西の京病院 血管外科センター)

1. 「当院における CAC の成績と経験した合併症」

Speaker: 鬼頭 祥悟 (大和高田市立病院 外科)

2. 「循環器内科医が始める下肢静脈瘤診療」

Speaker: 寺田 和始 (琵琶湖大橋病院 循環器内科)

3. 「超高周波超音波機器の導入前後での LVA (リンパ管静脈吻合手術) の変遷」

Speaker: 三宅 ヨシカズ (大阪あべのリンパ浮腫クリニック)

4. 「当院における骨盤内静脈うっ血症候群に対する卵巣静脈塞栓術の短期成績」

Speaker: 小田 晃義 (西梅田静脈瘤・痛みのクリニック)

— Break (10min) —

15:05 - 15:45 Esthetic Phlebology (40min)

Chairman: 金子 完 (金山駅前心臓と血管のクリニック・金子医院)

: 坂本 一喜 (なんば坂本外科クリニック)

1. 「当院に於けるハンドベイン治療について」

Speaker: 諸國 眞太郎 (諸國眞太郎クリニック)

2. 「ハンドベイン～フォーム硬化療法～」

Speaker: 古林 圭一 (梅田血管外科クリニック)

3. 「当院における C1 静脈瘤に対するロングパルス YAG レーザー治療の経験」

Speaker: 金子 完 (金山駅前心臓と血管のクリニック・金子医院)

4. 「当院におけるフェイススクレロセラピーの早期成績と合併症の報告」

Speaker: 佟 曉寧 (大阪静脈瘤クリニック)

— Break (15min) —

16:00 - 16:30 講義 (30min)

Moderator: 赤木 大輔 (東京大学)

川崎 大三 (森之宮病院 下肢救済センター 循環器内科)

1. ストレスなし！ハンディータイプ・エコーの活用

Faculty: 小谷 敦志

2. 下肢静脈瘤に対するグルー治療

Faculty: 武内 謙輔

3. レーザーによる不全穿通枝の治療

Faculty: 手島 英一

4. 超音波を用いた痛みのないデブリードマン

Faculty: 今井 崇裕

5. YAG レーザーでクモの巣状・網目状静脈瘤はどこまで綺麗になるか

Faculty: 山本 崇

16:30 - 17:30 Hands-on (60min)**Workshop Booth**

共催：東レ・メディカル株式会社

コヴィディエンジャパン株式会社

株式会社メディコスヒラタ

グンゼメディカル株式会社

サイトンジャパン合同会社



第15回 関西CVTの会



(JAPAN VENOUS TALK 2025併催)

当番幹事 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科センター)
テーマ：脈管診療はCVTであってもなくてもチームで解決！

○Japan Venous Talk 2025 (Vein Week 2025) 併催
大会長 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科センター)
テーマ：Dedicated to the Next Generation Who Make It
<https://k-ips.jp/japan-venous-talk-2025/>



奈良県コンベンションセンター
JAPAN VENOUS TALK 2025：天平ホール
第15回 関西CVTの会：ROOM 206

9:00-18:00
(第15回関西CVTの会)
10:00-17:00
※ハンズオンは当日先着順で受付

5
APRIL
2025

参加費
医師 6,000円
メディカルスタッフ 2,000円
どちらの会にも参加可
CVTでなくても参加可

○取得単位 血管診療技師 4単位*
日本フットケア・足病医学会 1単位
リンパ浮腫療法士 1単位

*取得条件：関西CVTの会に2時間以上参加を必須





第15回 関西CVTの会
(JAPAN VENOUS TALK 2025併催)
2025年4月5日 (土)

program



○Japan Venous Talk 2025 (Vein Week 2025)

ホームページ参照：<https://k-ips.jp/japan-venous-talk-2025/program/>

○第15回 関西CVTの会

開会の辞

1. Oral Presentation - 2 (合計60分：発表10分質疑5分計15分/人) 10:00-11:00

テーマ：静脈・リンパ管疾患の多職種連携

座長：北川孝道 (奈良県総合医療センター 臨床検査部)

吉岡明治 (天理よろづ相談所病院 臨床検査部)

- 1) 「下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術前の超音波評価における心臓血管外科との連携」
演者：宮内 元樹 (聖マリアンナ医科大学病院 超音波診療技術部超音波センター)
- 2) 「医療保険制度を見据えたチーム医療の未来」
演者：中山由香利 (西の京病院血管外科 看護部)
- 3) 「周術期肺塞栓プロジェクトにおける総合病院病棟看護師の役割と今後の展望」
演者：川本朋子 (奈良県総合医療センター ICU 看護部)
- 1) 「当院のリンパ浮腫外来の取り組み -チーム医療を目指して-」
演者：菊谷光代 (奈良県立医科大学附属病院 リンパ浮腫外来)

2. リンパ管講演+ライブ (合計60分：講演30ライブ15分質疑応答10分) 11:00-12:00

座長：松尾 汎 (松尾クリニック)

「リンパ管エコーの臨床活用」

演者：原 尚子(JR東京総合病院 リンパ外科・再建外科)

ランチオンセミナー (JVT2025天平ホールで合同開催) 12:00-12:30

3. 静脈不全講演(45分 (質疑応答含む)) 12:45-13:30

座長：小谷敦志 (近畿大学奈良病院 臨床検査部)

「慢性静脈不全の診療に必須な血管エコーと圧迫療法」

演者：小畑貴司 (金沢医科大学氷見市民病院 胸部心臓血管外科)

次ページつづく





第15回 関西CVTの会
(JAPAN VENOUS TALK 2025併催)
2025年4月5日 (土)

第15回 関西CVTの会プログラムつづき

4. CVTナースセッション (合計60分：講演8分質疑3分計11分/人) 13:40-14:40

テーマ：脈管診療におけるナースの役割

座長：小畑貴司 (金沢医科大学氷見市民病院 胸部心臓血管外科)

座長：井上由美子 (梅田血管外科クリニック 看護部)

- 1) 「フットケアで働くCVTナースの役割」
演者：清水砂奈恵 (三康病院 看護部)
- 2) 「カテーテル治療で働くCVTナースの役割」
演者：長田知香 (フリーランス看護師・CVT・インターベンションエキスパートナース)
- 3) 「血管外科センターで働くCVTナースの役割」
演者：黒瀬満里奈 (西の京病院 血管外科 看護部)
- 4) 「循環器専門病院で働くCVTナースの役割」
演者：越野理和 (岐阜ハートセンター 看護部)
- 5) 「静脈瘤クリニックで働くCVTナースの役割」
演者：井上由美子 (梅田血管外科クリニック 看護部)

5. 透析シンポジウム (合計60分：講演10分質疑5分計15分/人) 14:45-15:45

テーマ：「透析現場におけるメディカルスタッフの連携とは」

座長：小林大樹 (第二大阪けいさつ病院 臨床検査科)

座長：佐藤 洋 (医療法人社団医聖会 学研都市病院)

- 1) 「看護師の役割」
演者：坂田久美子 (津みなみクリニック)
- 2) 「臨床検査技師の役割」
演者：小林大樹 (第二大阪けいさつ病院 臨床検査科)
- 3) 「臨床工学技士の役割」
演者：木船和弥 (東葛クリニック病院)
- 4) 「医師の役割」
演者：矢野健太郎 (土田透析アクセスクリニック・医長)

6. ハンズオン (合計60分：定員各15名) 16:00-17:00

進行：北川 孝道 (奈良県総合医療センター 臨床検査部)

- 1) 下肢深部静脈エコーを基本から教えます
モデレーター：藤原英将 (洛西ニュータウン病院 臨床検査科)
- 2) 下肢表在静脈エコー時の神経の走行
モデレーター：吉岡明治 (天理よろづ相談所病院 臨床検査部)
- 3) VAシャントの基本から教えます
モデレーター：小林大樹 (第二大阪けいさつ病院 臨床検査科)
- 4) 圧迫療法の基本と明日から役立つデバイス選択の工夫
モデレーター：井上由美子 (梅田血管外科クリニック 看護部)

閉会の辞





Chairman

広島はくしま病院

杉山 悟

プロフィール

(経歴)

1985年 岡山大学医学部卒業
1985-1987年 三豊総合病院
1987-1989年 岡山労災病院
1989-1993年 岡山大学医学部第二外科
1993年- 広島逡信病院
2016年 広島逡信病院 院長
2022年 広島はくしま病院 院長



Speaker

お茶の水血管外科クリニック

広川 雅之

Title: 「最近のお茶クリ流 CAC 治療

～日々進化する術式と実践的アドバイス～

プロフィール

(経歴)

昭和 62年 高知医科大学医学部卒業
昭和 62年 高知医科大学医学部第二外科入局
平成 3年 高知医科大学医学部大学院修了
平成 5-7年 ジョーンズホプキンス大学医学部留学
平成 12年 東京医科歯科大学第一外科-入局
平成 15年 東京医科歯科大学血管外科助手
平成 17年 東京医科歯科大学血管外科講師
平成 17年 お茶の水血管外科クリニック院長

NARA ソックス・プロジェクト 特別企画

【県内大学生が創る奈良の未来事業】

Sponsored Seminar 1 - 株式会社リムフィックス



Chairman

畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 教授

村田 浩子

プロフィール

(経歴)

大阪市立大学大学院生活科学研究科生活環境学専攻前期博士課程修了
グンゼ株式会社京都研究所等を経て 2003 年より現職

(代表的な行政委員)

2008 年 10 月～2016 年 9 月 生駒市教育委員

2024 年 10 月～広陵町教育委員

(最近の研究)

2016 年～「乳がん術後女性の QOL 向上のための入浴着に関する研究」

2022 年度 2021 年から市販された入浴着がグッドデザイン賞を受賞

(主な著書)

2011 年 子どもと楽しむ染時間-つくって四季を感じよう-かもがわ出版(単著)

2013 年 広陵町の靴下百年史 広陵町靴下百年史編集委員会(共著)



Speaker

畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 2022 年度卒業生

福岡 愛実

Title: 「私とものづくり～学生時代を振り返って～」

プロフィール

(出身) 三重県名張市

(興味のあること) 染色、織りなどのものづくり

(将来の夢) 心理学を通して人の目標や夢の実現をサポートすること

ゼミでの「たびぼ」の命名プロジェクトについても触れる予定ですが、メインは大学時代に取り組んだ「ものづくり」(卒業研究の内容等)についてお話しする予定です。

具体的には、蚕を育てて糸を引き、紅花で染め、烏梅を用いて織り、着物に仕上げた卒業研究の内容を取り上げることを考えております。この発表を通じて、奈良の伝統文化にも触れることができればと思っております。



Chairman

つくば血管センター 顧問

岩井 武尚

プロフィール

(経歴)

認定 NPO 法人バージャー病研究所 所長
東京医科歯科大学 名誉教授
日本静脈学会 名誉会長
日本血管外科学会 名誉会員
日本脈管学会 特別会員



Speaker

JR 東京総合病院 リンパ外科・再建外科

原 尚子

Title: 「ここまで見える！リンパ管エコー」

プロフィール

(経歴)

2007年 九州大学医学部卒
2009年 東京大学形成外科入局
たくさんのリンパ浮腫患者さんに出会い、リンパ浮腫治療の難しさに直面し、同時にリンパ浮腫診療の魅力に心を打たれる
2016年 埼玉県済生会川口総合病院 リンパ外科・再建外科
2017年 東京大学医学博士号取得
2018年 JR 東京総合病院 リンパ外科・再建外科
年間 400 肢以上のリンパ浮腫手術を行う
2023年 4月 むくみクリニック



Chairman

福島第一病院 院長 心臓血管病センター長 心臓血管外科部長

小川 智弘

プロフィール

(経歴)

日本静脈学会 副理事長

1991年 福島県立医科大学卒業

1995年 福島県立医科大学大学院卒業 医学博士取得

1998年 福島県立医科大学心臓血管外科 助手

1999年 アメリカ合衆国ハワイ州ストラウブ病院（血管外科）留学

2000年 アメリカより帰国後 福島第一病院 心臓血管病センター勤務 循環器部長

2012年 福島第一病院 心臓血管外科部長

2014年 福島第一病院 心臓血管病センター長

2018年 福島第一病院 院長



Speaker

やまもと静脈瘤クリニック

山本 崇

Title: 「BECAUSE RESULTS MATTER ～Spider Web 治療の最前線～」

プロフィール

(経歴)

1999年 大阪大学医学部卒業 大阪大学医学部附属病院、大阪警察病院、大阪厚生年金病院（現 JCHO 大阪病院）、大阪船員保険病院（現みなと中央病院）、大阪労災病院、住友病院の形成外科を歴任

2012年 坂田血管外科クリニック

2014年 The Danish Vein Centers Naestved、Riviera Veine Institut、Poliambulatorio Eurocenter Venalinfa にて研修

2015年 お茶の水血管外科クリニック

2018年 やまもと静脈瘤クリニック

Vein Week 2025 JAPAN – INDONESIA Session



Speaker

Yuliardy Limengka (Ardy)

Mayapada Hospital Kuningan, Jakarta, and Beyoutiful Aesthetic Center, at T-Space Bintaro

Title : Efficacy and Safety of Different Types of Thermal Ablations in Indonesia : An Early Prospective Study

Yuliardy Limengka (Ardy) is an Indonesian Vascular & Endovascular Surgeon, currently practicing at Mayapada Hospital Kuningan, Jakarta, and Beyoutiful Aesthetic Center, at T-Space Bintaro. He finished his MD, General Surgery, and Vascular & Endovascular Surgery training at the University of Indonesia. He has special interest in phlebology, especially CVI, DVT and PTS. During his free time, he enjoys making coffee and taking photographs. He is an active member of Indonesian Society for Vascular & Endovascular Surgeon, and Indonesian Venous Forum.



Speaker

Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K)

Raden Mattaher Jambi Province Hospital, St. Theresia Jambi Hospital and Baiturahim Jambi Hospital

Title : Acute Lower Extremity Deep Venous Thrombosis : How to Deal With It

Dr. Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K) was born in April 4, 1991 in Jakarta (Indonesia). He is an Indonesia medical specialist in vascular surgery.

Dr. Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K) has married and has three beloved children: two daughters and one son. He started school in: Al-Azhar 8 Kemang Pratama Bekasi Elementary School from 1997-2003; Al-Azhar 8 Kemang Pratama Bekasi Junior High School 2003-2006; SMA N 103 Jakarta (Senior High School) 2006-2009; Medical Faculty in University of Sriwijaya 2009-2015; Surgery Departement in University of Sriwijaya 2017-2021; Vascular and Endovascular Departement in University of Indonesia 2022-2023.

Dr. Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K) had work in Pelabuhan Hospital and Puskesmas Dempo Palembang as internship doctor; Mohammad Hoesin Hospital as resident doctor ; Cipto Mangunkusumo Hospital as trainee doctor.

Dr. Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K) works as a doctor in vascular and endovascular surgery department in three hospital: Raden Mattaher Jambi Province Hospital, St. Theresia Jambi Hospital and Baiturahim Jambi Hospital.

As a vascular and endovascular surgery, dr. Radi Noorsyawal, Sp.B, Subs.BVE(K) had been an audience and speaker in international vascular conference: INAVASC XIV 2024 & v-WINDonesia in Bali. And he still keeps learning on to give the best performance to patient and society.

Vein Week 2025 JAPAN – INDONESIA Session



Speaker

Hendra Wibowo, Sp.B, Subsp.BVE(K), FICS

Primaya Hospital, Royal Progress Hospital dan Eka Hospital in Jakarta, the capital city of Indonesia

Title : Iliac Venous Stenting for Reflux with Venous Ulcer :
Stenting vs Ablation

Dr. Wibowo is a board-certified Vascular Surgeon with over 4 years of clinical experience. After graduating from Trisakti University, he completed his General Surgery residency at CiptoMangunkusumo National Center Hospital and further specialized in Vascular and Endovascular Surgery through a fellowship at University of Indonesia. Dr. Wibowo is actively involved in the Indonesian Society of Vascular and Endovascular Surgery and has a strong focus on providing comprehensive care for patients with Venous disorders. He is recognized for his dedication to patient education, and has presented research findings also being vascular workshop instructor at national conferences.

In his daily work, most of his patients are venous cases where the most are related to hemodialysis access, varicose veins, DVT, and malformations

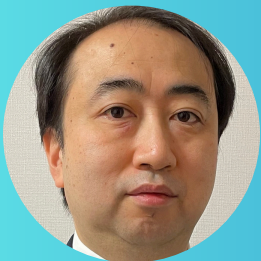
Today he is working at 3 hospital. Primaya Hospital, Royal Progress Hospital dan Eka Hospital in Jakarta, the capital city of Indonesia. He's appointed as Head of Division Vascular and Endovascular Surgery Unit in Royal Progress Hospital since 2023. He also appointed as executive member of the Indonesian Society for Phlebology, Board member of Indonesian Society for Vascular and Endovascular Surgery since 2023. Board Member of European Society for Vascular Surgery since 2024

In 2021, He granted Fellowship of the International College of Surgeons In 2024, He joined a Vwin Global Conference in Indonesia as a new generation speaker.

HANDS - ON SEMINAR

下肢静脈瘤治療 *UP to Date!*

Chairman



赤木 大輔
(東京大学)

Chairman



川崎 大三
(森之宮病院 下肢救済センター 循環器内科)

天平ホール

16:00 - 17:30

Faculty



小谷 敦志
(近畿大学奈良病院
臨床検査部)

Faculty



武内 謙輔
(たけうち静脈瘤ク
リニック)

Faculty



手島 英一
(福岡和白病院 血管外
科・血管内治療部)

Faculty



今井 崇裕
(西の京病院 血管外
科センター)

Faculty



山本 崇
(やまもと静脈瘤ク
リニック)

AGENDA

1. ストレスなし！ハンディータイプ・エコーの活用
2. 下肢静脈瘤に対するグルー治療
3. レーザーによる不全穿通枝の治療
4. 超音波を用いた痛みのないデブリードマン
5. YAGレーザーでクモの巣状・網目状静脈瘤はどこまで綺麗になるか

O-1-1 人工血管による V-V bypass にてシャント修復をした 2 例

¹市立東大阪医療センター心臓血管外科 高井 佳菜子

²のじまバスキュラーアクセスクリニック 野島 武久

³市立東大阪医療センター放射線科 田口 秀彦

⁴河内総合病院心臓血管外科 山口 高広

【症例】症例 1 は 59 歳男性。左前腕手関節部の吻合部に 30mm の瘤を認めた。瘤の中枢、末梢で橈骨動脈を露出し、瘤を切除、5mm ほど残した瘤壁を使用して吻合部の閉鎖を行った。同時に、中枢の橈骨動脈と発達した橈側皮静脈を使用して新たに自己動静脈シャントを造設した。その後 SLE 発症にてプレドニゾロン 12.5mg/日の内服中。主な穿刺箇所であった副橈側皮静脈の血栓閉塞による穿刺部位喪失に対して新たな流出路を設けるため、手術後 9 ヶ月で前腕遠位の副橈側皮静脈-肘部橈側皮静脈に 4-6mm 人工血管によるバイパス術を施行した。手術後 6 ヶ月間、シャントトラブルはなく透析を施行できている。症例 2 は 35 歳男性。手関節部で造設された AVF で、手背枝合流後から橈側皮静脈に 15cm 長の閉塞を認め、閉塞の中枢、末梢を 5mm の人工血管にてバイパス。術後 2 ヶ月で血栓による閉塞を認め血栓吸引を要した。その後は開存しているものの手背枝への血流が主体となっている。ソアサム症候群などの出現もないことから、経過観察としている。

【考察】PTA で再疎通困難な慢性閉塞病変へは、中枢側での AVF 再建が通常適応されるが、閉塞病変部位への VV バイパスは吻合部ならびに穿刺領域の温存が可能で、シャントの再作製スパイラルに一石を投じることができ有用な術式と考える。一方細径人工血管選択時には血栓閉塞のリスクがあり慎重な症例選択も必要である。

O-1-2 ICG リンパ管造影による全身の体表面集合リンパ流解剖の検証

～各所のリンパ流境界を中心に～

Anatomy of collecting lymph flows about the whole of the body surface; watershed of each part

¹社会医療法人 博愛会 相良病院 坂井 勇仁

²国立国際医療研究センター病院 形成外科 金崎 茉耶 宮崎 柊子 山本 匠

【目的】リンパ流解剖の解明は、リンパ浮腫治療を行うに当たって必要不可欠である。しかし現在のところ、全身の正確なリンパ流解剖については不明瞭な部分が多い。今回我々は全身の体表面の集合リンパ管の境界について検証したため、ここに発表する。

【方法】まず ICG リンパ管造影検査が行われた、リンパ浮腫のない下肢 20 肢と同側臀部について、リンパ管造影での Linear パターンの走行を検証した。尾骨の先端 (H1) と臀溝中央 (H3) 及びその中点 (H2) に ICG を皮下注射し、経路を観察した。同様に、リンパ浮腫のない上肢 30 肢について、上腕における肩峰と上腕骨外側上顆を結んだ線の四半点 3 箇所 (近位より U1-3) に ICG を皮下注射して経路を観察した。

【結果】臀部については、H1 から同側鼠径部に向かう Linear パターンを認めた症例は 16/20 であり、H2 と H3 から外側前面を通り鼠径リンパ節へ流入するパターンがそれぞれ 15/20 と 3/20、内側後面を通るパターンはそれぞれ 13/20 と 15/20 例であった。上腕については、内側前面を通り腋窩リンパ節へ流入する経路は U1-3 それぞれで 27/30、24/30、6/30 であり、外側後面を通る経路は 4/30、19/30、28/30 例であった。

【考察】今回の検証により、これまで明らかにされてこなかった臀部・上腕のリンパ流とその境界が明らかになった。今回の検証結果は、単純な解剖学的な成果のみならず、これまであまり着目されてこなかったこれらの部位のリンパ浮腫に対する治療に須く応用できるものであり、非常に有用と言えるだろう。

O-1-3 間歇的空気圧迫法のカフ種別による静脈血流のエコー評価

¹福岡和白病院 血管外科・血管内治療部 手島 英一

²福岡和白病院 エコー室 中埜 杏菜 大嵩 由樹 中埜 康治郎

【はじめに】完結的空気圧迫法 IPC は圧迫療法や下肢の自動運動が困難な症例の深部静脈血栓症予防に広く使用されている。そのカフの種類は形態的に足部型、下腿型、下肢型があり一般的に下腿型が広く用いられているが。また、圧迫形式は単一カフによるも、複数のカフを順次末梢から加圧するものがあるが、圧迫形式による静脈血流の評価は不明である。下腿型の単一カフと複数カフを用い静脈血流の評価を検討した。

【方法】対象：健康成人、使用機材：単一型 アイフローIPC M15・アイフローIPC ガーメント脚（下腿 M）、複数型 Kendall SDC 700 シリーズ・コンフォートスリーブ 膝丈 M サイズ。測定方法：仰臥位にて足関節レベルの大伏在静脈（GSV）、膝窩静脈(PV)の血管径、流速を測定後、その後カフを着用し同様にエコーを用いて血流評価を行なった。

【結果】健康成人 16 人、男女比 10: 6、年齢 26.0 ± 4.1 歳、身長 165.8 ± 8.8 cm、体重 60.2 ± 1.3 Kg、下腿周囲系 35.3 ± 3.8 mm、GSV 径 3.2 ± 8.9 mm、PV 径 7.8 ± 1.6 mm、単一カフ収縮時の PV PSV 45.0 ± 2.7 m/s、複数カフ収縮時の PV PSV 1 カフ目 22.8 ± 1.6 m/s、2 カフ目 45.2 ± 2.2 m/s、3 カフ目 30.8 ± 1.6 m/s であった。カフ収縮時の足関節レベルの GSV の波形は前例逆流を認めなかった。カフ解放時の足関節レベルでの GSV PSV は単一カフで 22.4 ± 1.1 m/s、複数カフで 15.1 ± 6.1 m/s であった。

【考察】足部血流の逆流は正常な静脈弁機能をもつ症例においてはカフの加圧方式による違いは認めなかった。複数カフ使用では最も中枢に近いカフの PSV に大きなばらつきを認めた。身長、体重、下腿周囲系などによる統計的な有意差は認めなかったためにカフの着用方法などが慣例している可能性が高いと推察された。

O-1-4 遅延型アレルギー反応予防に対する CAC 治療直後の抗アレルギー剤投与は有効か？

The effect of the anti-allergic drug on the delayed allergic reaction just after CAC treatment

¹兵頭内科眼科・ハートクリニック 循環器内科 兵頭 永一 前中 元良

²兵頭内科眼科・ハートクリニック 臨床検査技師 川崎 俊博

グルー治療（cyanoacrylate closure: CAC 治療）では、シアノアクリレートという医療用瞬間接着剤を静脈内に注入して血液の逆流を止めるため、遅延型アレルギー反応（発赤や痒みなど）がしばしば起こるとされる。まれに重症化することもあり大きな問題となるが、これに対しての予防法は確立されていない。当院ではアレルギー反応の予防法確立のため、術直後の抗アレルギー剤投与が遅延型アレルギー反応の発症頻度抑制に対して有効か検討を行った。対象は 2024 年から 2025 年に CAC 治療を行った 160 例。前半の 80 例では抗アレルギー剤投与を行わず、後半の 80 例では抗アレルギー剤であるレボセチリジン 5mg/日を術直後より 2 週間行った。全症例の 3 か月後の閉塞率は 96% であった。2 群間で年齢、性別、閉塞長、治療枝数に差は認められなかった。又、遅延型アレルギー反応は抗アレルギー剤非投与群で 14 例、投与群で 6 例に認めた ($P < 0.05$)。この結果から術直後の抗アレルギー剤であるレボセチリジンの投与は、CAC 治療の遅延型アレルギー反応発症予防法として有効である可能性が示唆された。

O-1-5 急性深部静脈血栓症に対する新規血栓吸引デバイス使用経験

Experience with a New Thrombus Aspiration Device

国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

林 浩也 辻 明宏 大郷 剛

急性深部静脈血栓症に対するカテーテル治療は、以前はカテーテル的血栓溶解療法が主流であったが、ウロキナーゼの供給不足により血栓吸引療法が見直されている。2024年から各施設において新規血栓吸引デバイス（CAT8）の使用が順次開始されており、当センターでは2025年1月時点にて2症例に対して治療を施行している。1例目は50歳代男性に対して、発症5日での施行であり吸引血液量は450 ml、穿刺から圧迫までの procedure time は182分であった。2例目は60歳代女性に対して、発症7日での施行であり吸引血液量は180 ml、procedure time は105分であった。いずれも治療は成功しており、術直後ならびに術後経過における再発は認めていない。また輸血を必要とする貧血の進行を含めた合併症も認めていない。当センターにおけるCAT8使用例の症例を報告するとともにこれからの治療戦略について考察する。

O-1-6 大伏在静脈レーザー焼灼時の筋膜上病変の検討

Study of laser ablation for suprafascial lesions of the great saphenous vein

¹医療法人社団 仁恵会 石井病院 外科 石井 洋光 中村 光宏

²医療法人社団 仁恵会 石井病院 循環器内科 梶浦 孝之

³医療法人社団 仁恵会 石井病院 生理検査室 牟田 友佳

⁴兵庫医科大学 形成外科 西本 聡

【はじめに】シアノアクリレート系接着材による血管内塞栓術(CAC)は血管内焼灼術(ETA)よりさらに低侵襲であると期待され広く普及している。一方CAC特有の有害事象として phlebitis があり大伏在静脈が10cmを超える saphenous compartment 外の筋膜上病変ではより起こりやすいとの報告がある。ETAもCACと同様筋膜上病変に対しては硬結、熱傷、色素沈着等の有害事象に注意して慎重にアプローチしなければならない。今回我々は血管内レーザー焼灼術(EVLA)で施行した手術手技及び治療成績を報告する。【対象及び方法】2023年1月より12月まで筋膜上病変を伴うGSV弁不全に対して下腿を含むGSVのEVLAを施行した27症例30肢を対象。CEAP分類はC2/C3/C4/C6=14/4/11/1。麻酔はTLAと全静脈麻酔の管理下で行った。LSO1470レーザーに直径1.0mmのRinglight slim fiberを接続し、GSVの大腿部7WでLEED70J/cm、膝部3W及び反復焼灼又は5WでLEED30~35J/cm、下腿部3W及び反復焼灼でLEED15~30J/cmを目安として分割焼灼。【結果】男/女=7肢/23肢、年齢67.3±12.0歳、手術時間39.5±10.8分、GSV焼灼長43.3±10.0cm、平均LEED47.0±7.4J/cm、GSV筋膜上焼灼長20.6±10.5cm、平均LEED30.7±6.5J/cm。術後焼灼に伴う問題となる有害事象は認めなかった。【結語】筋膜上のEVLAは下腿焼灼と同様焼灼条件を低出力かつ低LEEDに調整することにより、低侵襲で安全性かつ根治性のある治療法の一つであると考えられた。

Vein Week 2025-1 Large-scale questionnaire survey on adverse events of cyanoacrylate closure in Japan

—Current results and progress with discussion—

松阪おおたクリニック 草川 均

Objective: This study aimed to investigate the safety profile of cyanoacrylate closure (CAC), focusing on the types and incidence of adverse events (AEs).

Methods: A nationwide survey was conducted between November 2023 and December 2023. Data were collected from 1,017 institutions, covering 24,209 patients who underwent CAC at 335 institutions between January 2020 and October 2023. Thromboembolism, phlebitis, hypersensitivity reactions, granuloma formation, infection, bleeding, death, and need for glue resection were documented as unfavorable events/outcomes.

Results: Pulmonary embolism, proximal deep vein thrombosis (DVT), and ablation-related thrombus extension (ARTE) developed in 3 (0.01%), 9 (0.04%), and 95 (0.39%) patients, respectively. Localized phlebitis that required additional treatment was observed in 1,656 patients (6.8%). No patients developed a stroke or anaphylaxis. One patient died due to pulmonary embolism. Glue resection was performed in nine patients with delayed infection (n = 4), hypersensitivity reactions (n = 4), or a foreign body granuloma (n = 1).

Conclusions: A nationwide survey of CAC for varicose veins in Japan demonstrated that it was a safe procedure with a low rate of serious AEs. A further research on phlebitis is currently underway, and I would like to discuss its objectives and problems, including my own experiences.

O-3-1 当院における CAC の成績と経験した合併症

Results of CAC in our hospital and complications experienced

大和高田市立病院 血管外科 鬼頭 祥悟

【はじめに】シアノアクリレートを用いた血管内塞栓術 (CAC) は 2019 年から保険適応となり、当院でも 2022 年 9 月から CAC を導入した。CAC 導入後 2 年間における当院の血管内治療の成績および合併症につき報告する。【対象】今回は 2022 年 9 月から 2024 年 8 月において CAC を施行した 101 例を対象に検討し、24 ヶ月を 6 ヶ月毎の 4 期間に分割し、血管内治療における CAC の割合および手術時間、合併症などの評価を行った。術後の観察期間は最低でも 3 ヶ月とした。【結果】CAC を施行した症例の平均年齢は 74.2 歳。男性 30 例、女性 71 例、両側同時手術が 19 例、片側 GSV+SSV 同時施行が 10 例であった。血管内治療における CAC の割合は 35.7%→41.3%→44.7%→55%と徐々に増加傾向となっている。CAC 導入当初は本幹治療単独としていたが、現在は stab avulsion、硬化療法、IPV に対しての CA 治療なども同時に行なっている。術後合併症として、ステロイド投与を行った Phlebitis が 5 例、EGIT class2 以上 4 例 (EGIT class3 が 1 例)、肉芽腫が 1 例、全身性アレルギー 2 例認めた。再疎通例は認めなかった。EGIT の症例については抗凝固療法で全例が改善した。全身性アレルギーは長期化したものが 1 例に認められたが、約 1 年の経過で改善した。肉芽腫に関しては局所の切除のみで改善した。【考察】CAC は低侵襲な治療法で有用であるが、合併症管理の習熟が必要である。

O-3-2 循環器内科医が始める下肢静脈瘤診療

Varicose vein treatment for Cardiologist

医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院 循環器内科 寺田 和始

近年、ISCHEMIA 試験や ORBITA 試験が発表され、CCS(慢性冠症候群)に対する PCI の適応は限定されつつある。また、デバイスの改善によって PCI はすそ野が広がり、ほぼすべての循環器内科医が身に着けるべき手技となっている。現代の循環器内科医は、虚血性心疾患を基礎とし、不整脈領域、構造的な心疾患領域、脈管領域の3分野のいずれかを専門として選択する傾向にある。脈管領域グループにおいては、重症虚血肢に対する診療を進んで行っており、他科の領域であったフットケアに進出している。その中で、静脈うっ滞性潰瘍に度々出会うものの、特に地方においては静脈診療を行っている周辺施設が乏しく、静脈瘤治療を自ら行う必要性を感じている循環器内科医は増えているはずである。しかしながら、脈管学会専門医を取得している循環器内科医は現在においても少なく、全国で233名、滋賀県内では2名のみである。その中でも実際に静脈瘤治療を行っている循環器内科医はさらに少数である。その理由として、循環器内科医が新規に下肢静脈瘤治療を開始するためには、いくらかの困難が存在することが挙げられる。必要性を感じながらも困難に直面し静脈瘤治療に踏み出せない医師にも参考となるように、自身の経験をもとに実際の症例も交えて概説する。

O-3-3 超高周波超音波機器の導入前後での LVA（リンパ管静脈吻合手術）の変遷

大阪あべのリンパ浮腫クリニック 三宅 ヨシカズ 清水 隆昌 仲野 祐里

当院は無床のリンパ浮腫専門クリニックとして、リンパ浮腫患者の『生活の質 "Quality of Life" の向上』に貢献できるように圧迫療法やリンパドレナージの保存的治療に加え、外科的治療としてリンパ管静脈吻合手術（LVA）を治療選択肢として提供している。

LVA は、リンパ管と静脈を吻合し、リンパ液を静脈流路に還流させることを目的とした術式であり、古くは1970年代から実施されている。LVA の効果を最大化するためには、より機能を保っているリンパ管の正確な特定と、確実な吻合技術が不可欠である。良好なリンパ管を特定する確率をあげるためには、ICG リンパ管造影検査、高周波エコーだけでは不十分であり、より高度なデバイスの活用が求められる。また、吻合技術を支えるためのデバイスの進化も同様に重要である。

当院では現在、最大71MHzの超高周波エコーを用いてLVAを実施しており、これにより精度の向上が期待されている。LVA術式の進化の経緯と最新の臨床状況について報告する。

O-3-4 当院における骨盤内静脈うっ血症候群に対する卵巣静脈塞栓術の短期成績
Short-term outcomes of endovascular ovarian vein embolization for pelvic venous congestion syndrome

西梅田静脈瘤・痛みのクリニック 放射線科 小田 晃義

Background and purpose: 骨盤内うっ血症候群 (pelvic vein congestion syndrome: PVCS) は慢性骨盤痛の原因の一つであり、卵巣静脈塞栓術は PVCS の有効な治療法と考えられているが、本邦でまとまった報告は少ない。今回本邦における PVCS に対する卵巣静脈塞栓術の短期成績を明らかにする

Material and methods: 2019 年 4 月から 2024 年 4 月の間に PVCS に対する卵巣静脈塞栓術を受けた 20 人の女性患者 (平均年齢: 53.7 歳、範囲: 30~80 歳) を対象に、後方視的に検討を行った。評価項目として技術的および臨床的成功率を検討し、臨床的成功は、術後 3 か月の視覚アナログスケール (VAS) スコアに基づいて評価され、症状消失、有意な改善 (VAS の減少 > 50%)、部分的な改善 (VAS の減少 < 50%)、または改善なしに分類した。

Results: 技術的成功率は 100% であった。平均 VAS スコアは術前 7.4 であったが、術後は 2.05 と有意に改善が見られた。症状消失は 60% (12/20)、有意な改善は 15% (3/20)、部分的な改善は 10% (2/20)、改善なしは 15% (3/20) であった。

Conclusions: PVCS に対する卵巣静脈塞栓術の短期的結果を明らかにした。経皮的卵巣静脈塞栓術は PVCS に対し、有効な治療と考えられたため、若干の文献的考察を加えて報告する。

Esthetic Phlebology-2 ハンドベイン ~フォーム硬化療法~

Foam sclerotherapy for dorsal hand veins

医療法人 見宜堂 梅田血管外科クリニック 古林 圭一

当院におけるフォーム硬化療法を用いたハンドベイン治療を報告する。

2024 年 1 月から 12 月の 1 年間に 12 名の女性 (24 症例) に施行している。同時期に受診するも施行に至らなかったのは 10 名であった。平均年齢は 53 歳 (37-87) であった。治療は、原則片手ずつ行い、0.5%ポリドカスクレロール varixio を使用した。平均治療回数は 1.4 回 (片手) であった。血栓形成をほぼ全症例に認め、1 週間で改善されない浮腫みも 2 症例に認めた。その他、重篤な副作用は認めなかった。満足度は 1 年後以降の評価になるが、概ね良好な臨床的改善を示していると思われる。

Esthetic Phlebology-3 当院における C1 静脈瘤に対するロングパルス YAG レーザー治療の経験

Experience of long-pulse YAG laser treatment for C1 varicose veins at our clinic
KCVC・金子医院 金子 完

下肢静脈治療は伏在型静脈瘤に対しては血管内治療が全盛だが、クモの巣状静脈瘤や網目状静脈瘤など CEPA 分類 C1 に対しては硬化療法が有効な治療とされている。しかしながら、硬化療法は色素沈着を来すことも多く美容的な問題や、1mm 以下の皮内細静脈の拡張では技術的に難易度の高いことも多い。当院では 2022 年からクモの巣状静脈瘤、網目状静脈瘤に対してシネロン・キャンデラ社製ロングパルス YAG レーザー(1064nm)を用いた体外レーザー照射による治療を開始した。この方法は、単一波長のレーザー光を照射する方法で、YAG レーザーの光は標的である血管のみに選択的に反応し瞬間的に焼灼し、周囲の正常皮膚組織へのダメージが少ないのが特徴である。治療の適応となるタイプはクモの巣状静脈瘤や網目状静脈瘤で、治療効果を得るためには、2-3 ヶ月に 1 度の頻度で 3-5 回、経過によってはそれ以上の焼灼回数が必要である。治療回数や頻度には個人差があり、全ての患者で同じ臨床効果が得られるわけではなく経過も異なるため、長い治療期間が必要になることも多い。また病変は、色は薄くなっても完全に消失するものではないと考えるべきであるあり、患者への十分な説明と理解も重要である。今回、当院で行ったロングパルス YAG レーザーを用いた体外レーザー照射の治療経験を報告する。

Esthetic Phlebology-4 当院におけるフェイススクレセラピーの早期成績と合併症の報告 Early result and complication of Face Sclerotherapy 大阪静脈瘤クリニック 血管外科 佟 暁寧

【背景】ポリドカノール(Polidocanol)を用いた硬化療法は保険診療として、下肢静脈瘤・食道静脈瘤などの領域に应用されている治療とされているが、国内では顔面血管の治療に应用する報道は今までなかった。そこで、当院では従来の硬化療法を改善し、顔面血管の治療に应用する工夫を行っている。今回その手技をフェイススクレセラピー (Face Sclerotherapy, FS) として、治療成績と合併症について報告する。

【方法】2022 年 2 月から 2024 年 6 月まで、顔面血管 607 例に対し顔面血管の診察をし、FS 治療の施術人数は 502 人 (82.7%) であった。患者は平均年齢 34±12 才、女性 558/男性 49 であった。解剖学的に眉間の静脈は眼底静脈と連絡のあるため、禁忌部位とする。34G の針を用いて治療血管に穿刺し、独自調整した濃度のポリドカノールを注入する。治療のフォローアップは 1 ヶ月後・7 ヶ月後とした。本研究では周術期成績に加え、疼痛の程度 (Pain Score) と患者満足度を後方視的に検証した。

【結果】治療血管の部位は (多い順) : ①鼻周囲 198 例 (39.4%)、②頬 178 例 (35.5%)、③目の下 73 例 (14.5%)、④こめかみ 61 例 (12.2%)、⑤瞼 74 例 (14.7%)、⑥額 22 例 (4.4%)。単独箇所症例 398 例 (79.3%)、複数箇所症例 104 例 (20.7%)。治療回数として、1 回 203 例 (40.4%)、2 回 241 例 (48.0%)、3 回 41 例 (8.2%)、4 回以上 17 例 (3.4%) であった。治療時間は平均 13.3±13.0mins であった。術後追跡率は 100% であり。追跡期間中の合併症発生率は、色素沈着 0/502(0.0%)、神経障害 0/502(0.0%)、アレルギー 5/502(1.0%)、皮膚潰瘍 1/502(0.2%) であった。また術後フォロー可能な時点で患者満足度は 9.1 であり、疼痛スコアは 3.1 であった。

【結論】顔の細小血管に対するフェイススクレセラピーは、厳密に適応を選択することにより色素沈着を認めず有効な治療であった。更なる遠隔期のフォローアップを要するが、今後血管走行が明らかな顔面血管治療の適応を更に拡大できる可能性が示唆された。

謝辞

本学会の開催にあたり、多くの皆様からのご協力をいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

大会長 今井 崇裕

共催および協賛企業

2025.3.1現在

●セミナー共催

コヴィディエンジャパン株式会社

東レ・メディカル株式会社

株式会社リムフィックス

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

グンゼメディカル株式会社

サイトンジャパン合同会社

株式会社メディコスヒラタ

●広告掲載

アルケア株式会社

石黒メディカルシステム株式会社

九州メディカルサービス株式会社

共同精版印刷株式会社

昌和莫大小株式会社

株式会社鈴木靴下

第一三共株式会社

ファイザー株式会社

株式会社フィリップス・ジャパン

●企業展示

川本産業株式会社

三優メディカル株式会社

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

シネロン・キャンデラ株式会社

(五十音順)

Medtronic

足がむくむ、血管が浮き出る

それは

か し じょう みやく りゅう

「下肢静脈瘤」

かもしれません

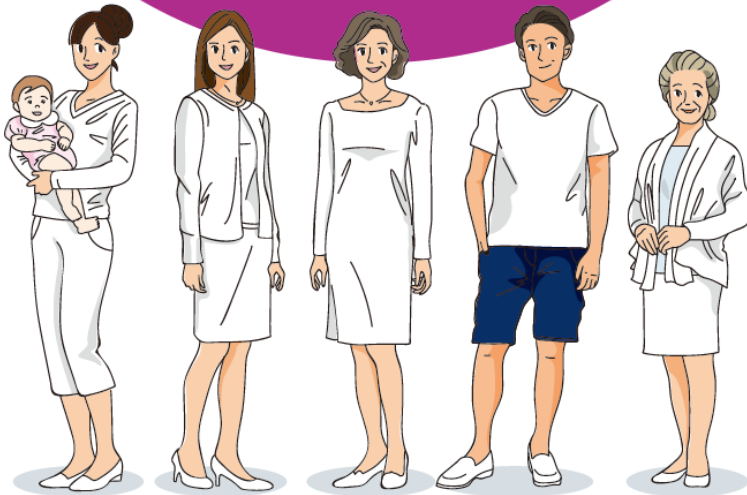


動画はこちらから



か し じょう みやく りゅう
「下肢静脈瘤」

のより詳しい情報は
ウェブサイトをご覧ください



知ってください下肢静脈瘤のこと 検索

コヴィディエンジャパン株式会社
medtronic.co.jp

© 2024 Medtronic. EV306_1.0

いつでも、どこでも。スマートエコー[®] ゼータ リニア/コンベックスを ラインナップ

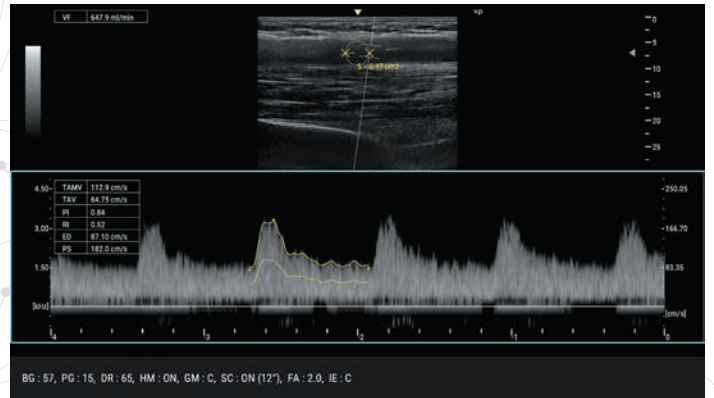


リニア

コンベックス

PWD (パルスウェイブドプラ) オプション機能

RI (血管抵抗値) や FV (体積流量計測) 等に対応します。



- 軽量のWirelessプローブ
(リニアは150g、コンベックスは183g)
- バッテリー駆動時間3時間以上

いつでも
どこでも
確認・診断

安全・安心

タスクシフト
タスクシェアに

一般的名称：汎用超音波画像診断装置

販売名：超音波診断装置 VP-US Advanced

認証番号：305ACBZX00002000

種別：管理医療機器、特定保守管理医療機器

製造販売元：株式会社アスター電機

販売元：東レ・メディカル株式会社

タオル地なのに
ぴったりフィット
しっかりサポート

業界初!

ふんわりソフトな肌ざわりの
医療用弾性ストッキング

奈良県発産学医連携
「NARAソックス・プロジェクト」

たびぽ



たびぽは他のストッキングより
足が蒸れない!

COLOR: ネイビー・ブラック
圧迫圧: 弱圧 24-32hPa/18-24mmHg
爪先あり・なし

爪先あり



爪先なし



レックスフィット ファイブ
5本ゆびで着圧

男女兼用

足首にしっかりと圧をかけ
徐々に減圧する設計で
足が軽やか



日本製

- ☑ 足のむくみや疲れが気になる
- ☑ 仕事や家事で長時間同じ姿勢が続く
- ☑ 爪先のムレが気になる

● バランスのよい段階圧力設計

独自の着圧設計で1日中快適な履き心地を求めました。

● 綿混素材の5本ゆびソックス

足ゆびが分かれているので通気性が良く蒸れにくい仕様です。

● ナノファイン加工・保湿加工で毎日快適

毎日履き続けていただけるよう防臭面や肌への優しさにも心がけました。

★ ナノファイン加工

着用しやすい弱圧タイプ

圧迫圧 20mmHg/27hPa

保湿加工

ナイロン・ポリウレタン・コットン

Graduated Compression Stockings from ETI R_gFit.

世界シェアNo.1実績
医療用弾性ストッキング
レックス
フィット

圧力タイプ

着用しやすい
弱圧タイプ

しっかり圧迫
中圧タイプ

生地タイプ

肌が透けて見える
薄手

肌が透けて見えにくい
厚手

カラータイプ

ライト
ベージュ

ミディアム
ベージュ

ブラック

爪先タイプ

爪先を締め付けない
無圧帯加工
爪先あり

通気性の良い
爪先なし

立ち仕事の方に最適。
下肢静脈の環流促進に最適。

お肌が敏感な方のために、綿素材の割合
を高くしたコットンハイソックスです。

コットンマイクロファイバー

肌あたりの良いコットン素材

吸撥水性に優れたマイクロファイバー



医療用弾性ストッキング 専門メーカー

株式会社 リムフィックス

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目3番12号 ケイズビルディング4F

TEL:03-3818-8493 FAX:03-3818-8495 URL:http://www.limfix.com/

一般医療機器/製造販売許可番号 13B3X90009000001

Best Customer Service
LimFix

Canon



Close to you, Close to me.

シンプルが好き、スタイリッシュが好き。でも、それだけじゃ物足りない。
コンパクトがいい、使いやすいのがいい。でも、それだけじゃ満足しない。
もっと私にちょうどよくて、もっと私にじっくりきて。
日々、一件一件の検査に向き合い、病気を見つけ出すために研鑽を積む。
全てを患者さまのために、明るい未来を診られるように。
だから超音波診断装置に求めるものは、自分らしさで選びたい。

—— The all in one for me.

医療を支える多くのプロフェッショナルに“わたし”のぴったりを叶えるパートナーを。
Brand New me, Aplio me 誕生。

Aplio Adjusts “me”

Aplio me


Debut!

〔一般的名称〕 汎用超音波画像診断装置 〔販売名〕 超音波診断装置 Aplio me CUS-AME00 〔認証番号〕 305ADBZX00027000 〔製造販売元〕 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
J000696-00

超音波の特性を活かした 次世代のデブリードマン機器

繰り返しデブリードマンを実施することで

 治癒率の向上が期待できます※1

 高いバイオフィルムの除去能が
みとめられています※1



- ① 低侵襲※2
- ② 簡便な操作性
- ③ 軽量でコンパクト

GUNZE MEDICAL

グンゼメディカル株式会社

各種資料の請求・購入その他のお問い合わせは、
グンゼメディカル株式会社までご連絡ください。

TEL:06-4796-3151 / FAX:06-4796-3150

販売名：ウルトラキュレット
承認番号：30100BZX00209000

※1 Yukie Mori, Gojiro Nakagami1, et al. Effectiveness of biofilm-based wound care system on wound healing in chronic wounds. Wound Rep Reg. 2019; (27):540-547

※2 既存の外科的デブリードマンと比較

文書管理No.P000250-2

BECAUSE RESULTS MATTER ～Spider Web治療の最前線～

スポンサード・セミナー3 (13:25-13:45)

座長:

小川 智弘 先生

(福島第一病院 院長/心臓血管外科部長)



演者:

山本 崇 先生

(やまもと静脈瘤クリニック 院長)

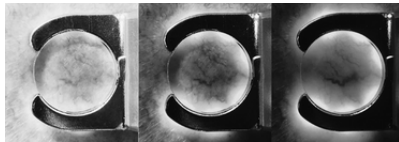


ClearV™

WAVELENGTH: 1064NM ND: YAG
TARGET CHROMOPHORE: HEMOGLOBIN

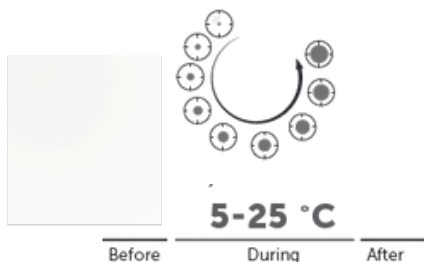
※薬事未承認機のため、保険治療は不適合です。

<ClearVの特徴>



サブサーフェイス静脈イルミネーション (SVI)

独自のSVI (サブサーフェス静脈イルミネーション) を搭載。2波長の光 (590nm, 605nm) を駆使し、表在性の静脈やフィーダー静脈の視認性を高めます。



VascuZoom

装置の画面でスポットサイズ: 3～10mmの間で瞬時に可変できます。

調整可能な一体型冷却機能

一体型サファイア冷却チップにより冷却温度: 5～25℃で保ち、
施術時の快適さと安全性を確保します。

VARIXIO

VARIXIO®マイクロフォームシステム

粒子が細かく均一で長持ちする
高品質なマイクロフォーム硬化剤を自動で調製



販売名：VARIXIO マイクロフォームシステム
届出番号：27B1X00058000042



ENDO THERMELASER™ 1470

エンドサームレーザー 1470

術後の疼痛や内出血が少ない下肢静脈瘤レーザー治療をサポート

販売名：LSO1470レーザー
承認番号：22700BZX00311000

製造販売業者

株式会社 **メディコス ヒラタ**

本 部 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀3丁目8番8号 ☎06-6443-2288

<http://www.medicos-hirata.co.jp/>



JOBSTシリーズは
圧迫療法を
サポートします。





毎日のケアを考えた
浮腫用平編み弾性着衣

日本製

「エアボシリーズ」

特許取得済

力の弱い方でも簡単に装着・脱着できる、通気性のよい医療用圧迫着衣

すべての製品に
「オーガニックコットン」を
採用しました

夏は涼しく、冬はあたたか、
一年を通して快適に装着できます。
敏感肌の方にも安心です。

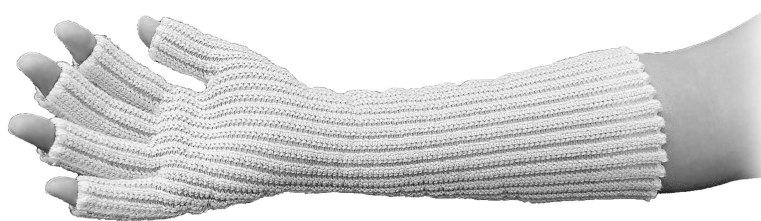
特許取得済み
3つのやさしさ

- 1 通気性・還流促進を考慮した平編みタイプ
裏地綿 100% でシームレスの凹凸メッシュ生地
- 2 中間層に高弾性糸を編み込んだ立体構造の
無縫製編立設計
- 3 三次元曲線構造設計でしっかりフィット

上肢用

平編み弾性グローブ
エアボ・ウェーブ ファイン

平編み弾性スリーブ
エアボ・ウェーブ スリーブ
エアボ・ウェーブ ミトン付きショルダー

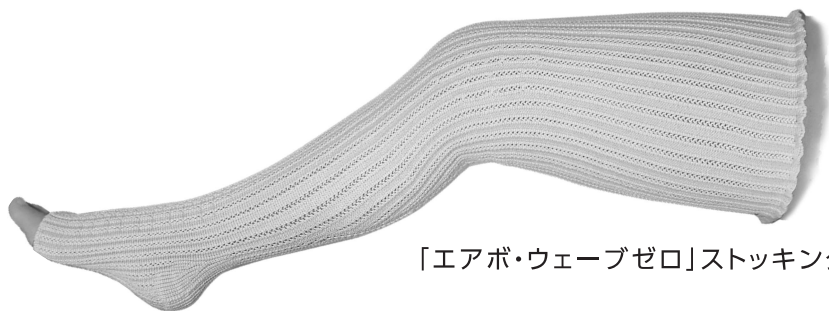


「エアボ・ウェーブ ファイン」ロンググローブ

下肢用

平編み弾性ストッキング
エアボ・ウェーブ EV1

平編み弾性ストッキング
エアボ・ウェーブ ゼロ



「エアボ・ウェーブゼロ」ストッキング

用途や患部に沿った商品をお選びいただけるよう、多様な丈やサイズを揃えています。
詳しくは公式HPのカタログ(PDF)をご覧ください。



■「品質の高いユニークな製品づくり」をモットーに、国内で開発・製造を行っています

製造販売元:

三優メディカル株式会社 〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條南井口58番地
www.sanyu-medical.com

☎ 052-526-5017 ✉ info@sanyu-medical.com

In your hands, the elevated experience you deserve.



LOGIQ

Ultrasound, the next level

Adaptive Innovation with cSound™



Smart AI Tool



※AI Toolとは、AI手法を用いて開発された機能のことを指しています。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
カスタマーコールセンター 0120-202-021
gehealthcare.com



GE HealthCare

製造販売 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
販売名称 汎用超音波画像診断装置 LOGIQ E10s
医療機器認証番号 302ACBZX00003000

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vscan Air
医療機器認証番号 303ACBZX00012000

"Vscan Air CL" は上記医療機器の類型 (CLプローブ) です。

※GEは、商標ライセンス下で使用されるGeneral Electric Companyの商標です。

※LOGIQは、GE HealthCareの商標です。

※Vscanは、GE HealthCareの商標です。

IPLとして
国内初
3つの適応で薬事承認取得
1. 色素性疾患
2. 血管病変
3. 長期減毛



Nordlys™

皮膚疾患・長期減毛用光治療器
<承認番号：30400BZX00032000>



ピコ秒レーザーとして
国内初
刺青除去で薬事承認取得
3波長薬事承認取得



PicoWay™

特定診療報酬算定医療機器に収載
ピコセカンド KTP / Nd:YAGレーザー
<承認番号：23000BZX00270000>



国内初!
フラクショナル治療はPicoWayの
新たな選択肢になりました



Resolve Fusion™ 532 nm
フラクショナルハンドピース

**フラクショナル
リサーフェシング**



Matrix™

フラクショナル RF
<承認番号：30400BZX002330000>

新発売



Syneron Candela 薬事承認製品 Line up

シネロン・キャンデラ製品は、全機種が国内における薬事承認取得機器です。

製品詳細は QR コードからご覧いただけます。

長期減毛・皮膚良性色素性疾患の
治療目的 薬事承認取得



GentleMax Pro Plus™ ・ GentleLase Pro
GentleMax Pro / GentleYag Pro

長期減毛・色素性疾患用レーザー装置

GentleMax Pro Plus <承認番号：30200BZX000304000>
GentleLase Pro <承認番号：22800BZX00446000>
GentleMax Pro / GentleYag Pro <承認番号：23000BZX00128000>



Vbeam II

特定診療報酬算定医療機器に収載
皮膚良性血管病変治療用レーザー装置

<承認番号：22800BZX00358000>

デュアプレス・テンションガイド

Dualpress - Tension Guide

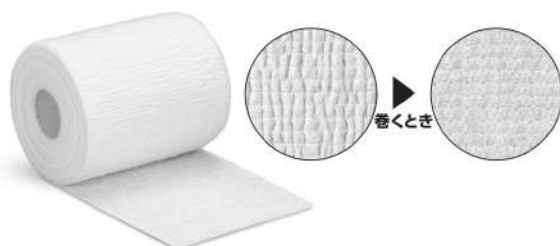
自着性包帯キット
Cohesive Bandage Kit

適切な圧迫圧を維持。
巻き直しの手間が少ない
2層式包帯。

パディング包帯 片面自着

伸長率：60% (ショートストレッチ)

保護 + 圧迫 + ズレ防止



非伸縮の不織布に伸縮糸を編み込んでおり、
不織布が伸びた状態で巻きます。

ガイド付き弾性包帯 両面自着

伸長率：150% (ロングストレッチ)

巻き緩み防止



伸縮性に富んだ弾性包帯で、ひし形のガイドが
正方形になった状態で巻きます。

異なる伸縮性と自着性をもった2層の包帯で、安定した圧迫圧を維持します。
巻きやすく緩みにくいので、巻き直しの手間が少ない安定した圧迫固定が行なえます。

装着はこんなに簡単

● 巻やすさに配慮した設計

自着性により装着時に手を
離しても転がり巻きほぐれ
ることがありません。
包帯になれていない方でも
自身のペースで
巻くことができます。



● 使う分だけ手でカット

インナー層、アウター層と
も道具を使わず手でカット
することができます。
下肢の長さや太さによらず、
適正な位置で巻き終わる
ことができます。



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19F 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863**

土・日・祝日を除く
午前9：00～午後5：00



医療を支える企業としての使命感を忘れずに

今までもこれからも・・・いつも生命のそばに

病 医 院 設 備
医 療 機 器
介 護 用 品
病 医 院 の 開 業 支 援



石黒メディカルシステム株式会社

<http://www.ishiguro-medical.jp/>

京 都 本 社 : 〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町381番地
TEL 075-641-1496 FAX 075-641-0010

大 阪 支 店 : 〒569-1145 大阪府高槻市富田丘町9番5号
TEL 072-696-1496 FAX 072-696-1961

東大阪支店 : 〒577-0062 大阪府東大阪市森河内東1丁目26番19号
TEL 06-4308-5710 FAX 06-4308-5772

神 戸 支 店 : 〒651-2113 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬977番地1
TEL 078-975-3015 FAX 078-975-3016

滋 賀 支 店 : 〒524-0041 滋賀県守山市勝部6丁目4番36号
TEL 077-582-7770 FAX 077-582-7796

奈 良 営 業 所 : 〒639-1124 奈良県大和郡山市馬司町130番地
TEL 0743-23-1496 FAX 0743-23-1497

京 浜 営 業 所 : 〒210-0856 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1-1
TEL 044-328-6270 FAX 044-333-0121

sigvaris



ONに履きたい 男の1足

シグバリス史上、最高傑作との呼声が高い
男性用 高機能着圧ハイソックス

JAMES

ジェームス



OFFに 履きたい足



弱圧が心地いいハイソックス

MICROFIBER SHADES for Men for Women

マイクロファイバー シェード



製造販売元:  九州メディカルサービス株式会社 福岡県久留米市螢川町4番地4
資料請求先: 東京営業所 ヘルスケア事業部 Tel. 03-3863-8028 / Fax.03-3863-8029



九州メディカルサービス
株式会社ホームページ
<https://www.kyushu-med.jp>

KYODO SEIHAN PRINTING

KSP

Translate your Vision

読めるように伝わるように
お客様の思いをカタチに変えて



共同精版印刷株式会社

<https://www.ksp-group.co.jp/>

奈良市三条大路2丁目2-6

TEL.0742-33-1221(代)



ジャパンメイドの品質。

足元のニーズに応える

医療現場まで。

トップアスリートから

KIPS Meeting 2023 開催によせて

90年にわたる靴下製造技術を礎に、アスリート仕様に特化したソックスを生み出すファクトリー・ブランドとして2017年にスタートしたOLENO。企画・デザインから製造・出荷まで奈良本社で完結するジャパンメイド。開発者みずから走り込んで得たランナーならではのニーズやこだわりに、のべ100名以上のトレイルランナーの数千キロ以上の試着・試走によるフィードバックを取り入れ、常に進化を重ねるULTIMATEシリーズが我々のフラッグシップ・プロダクトです。

アスリートのシビアな要求に技術で応え、OLENO製品は今では多くのランナーのレース定番装備となり、プロリーグのオフィシャル・レグウェアにも。また、箱根駅伝入賞チーム、トレラン日本代表、そしてオリンピックの勝負ソックスに選ばれています。厚みから着圧加減までミリ単位で感じ取るプロアスリートの敏感な足元。それに応える技術力は、医療現場でも活かされています。西の京病院血管外科センターの今井崇裕医師が取り組まれている下肢静脈瘤の治療のため、今井医師の監修のもと、日本人に合ったサイズと圧迫圧にこだわり抜いた、弾性ストッキングASHIKAを開発。ASHIKA着用後の下肢周囲径の減少、ふくらはぎの血流速度の増加、および血管径の減少は計測、実証されています。トップアスリートから医療現場まで、足元のニーズに応えるOLENO。



昌和莫大小株式会社
〒635-0813 奈良県北葛城郡広陵町百済 1369-1
TEL. 0745-55-0415

OLENO HP



ASHIKA カタログ



保温性の高い米ぬか繊維の靴下
『歩くぬか袋®』シリーズ



奈良の小さな会社ですが、「鈴木靴下に行けば面白い商品が沢山ある！」そう言って頂けるよう、これからも一切の妥協なく、「夢」を語るものづくりに取り組んでまいります。



鈴木靴下には、熟練の職人、新しい商品への開発に力を貸してくれる頼もしいスタッフが沢山います。お客様に喜んで頂けるよう、取り組んでまいりますので、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



病気になる。あるいは、健康への心配がある。

それだけで、人は日常から引き離されてしまう。

第一三共が掲げる「健康で豊かな生活」とはつまり、
すべての人が前向きに日々を生きられる、ということ。

わたしたちがサイエンス&テクノロジーで、
革新的モダリティ(治療手段)を追求するのも、そのためです。

健康につまずかない。そんなサステナブルな未来へ。

わたしたちは今日も、イノベーションの先にあるこたえをさがしています。

世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

大切な人を選ぶなら



経口FXa阻害剤

処方箋医薬品^注 薬価基準収載

エリキユース錠 2.5mg / 5mg

Eliquis. (アピキサiban錠)
(apixaban) tablets

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

1. 警告

〈効能共通〉

1.1 本剤の投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されていないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。[2.2、2.3、7.1、7.2、8.1、8.2、8.11、9.1.1、9.1.2、9.2.2、9.2.4、13.1、13.2参照]

〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉

1.2 脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれるおそれがある。静脈血栓塞栓症を発症した患者が、硬膜外カテーテル留置中、もしくは脊椎・硬膜外麻酔又は腰椎穿刺後日の浅い場合は、本剤の投与を控えること。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

〈効能共通〉

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2.2 臨床的に問題となる出血症状のある患者 [出血を助長するおそれがある。][1.1、8.1、8.2参照]
2.3 血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者 [出血の危険性が增大するおそれがある。][1.1参照]
〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉
2.4 腎不全(クレアチニンクリアランス(CLCr) 15mL/min未満)の患者 [9.2.1参照]
〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
2.5 重度の腎障害(CLCr 30mL/min未満)の患者 [9.2.3参照]

4. 効能又は効果

○非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
○静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制

5. 効能又は効果に関連する注意

〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
5.1 ショックや低血圧が遷延するような血行動態が不安定な肺血栓塞栓症患者又は血栓溶解剤の使用や肺血栓塞栓症摘出が必要となる肺血栓塞栓症患者における有効性及び安全性は確立していないため、これらの患者に対してヘパリンの代替療法として本剤を投与しないこと。
5.2 下大静脈フィルターが留置された患者における本剤の使用経験が少ないため、これらの患者に投与する場合には、リスクとベネフィットを十分考慮すること。[17.1.3参照]

6. 用法及び用量

〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制)〉
通常、成人にはアピキサibanとして1回5mgを1日2回経口投与する。
なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサibanとして1回2.5mg 1日2回投与へ減量する。
〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
通常、成人にはアピキサibanとして1回10mgを1日2回、7日間経口投与した後、1回5mgを1日2回投与する。

7. 用法及び用量に関連する注意

〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制)〉
7.1 次の基準の2つ以上に該当する患者は、出血のリスクが高く、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため、1回2.5mg 1日2回経口投与する。[1.1、17.1.1参照]
・80歳以上 [9.8参照]
・体重60kg以下
・血清クレアチニン1.5mg/dL以上
〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
7.2 特に静脈血栓塞栓症発症後の初期7日間の1回10mg 1日2回投与中は、出血のリスクに十分注意すること。[1.1参照]

8. 重要な基本的注意

〈効能共通〉

- 8.1 凝固能検査(プロトロンビン時間(PT)、国際標準比(INR)、活性化部分トロンボプラスチン時間(aPTT)等)は、本剤の抗凝固能をモニタリングする指標とはならないため、本剤投与中は出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。また、必要に応じて、血算値(ヘモグロビン値、ヘモグロビン貯留量の検査を実施し、急激なヘモグロビン値や血圧の低下等の出血徴候を確認すること。臨床的に問題となる出血や貧血の徴候が認められた場合には、本剤の投与を中止し、出血の原因を確認すること。また、症状に応じて、適切な処置を行うこと。[1.1、2.2、11.1.1参照]
8.2 患者には、鼻出血、皮下出血、歯肉出血、血尿、嘔血、吐血及び血便等、異常な出血の徴候が認められた場合、医師に連絡するよう指導すること。[1.1、2.2参照]
8.3 抗血小板薬2剤との併用時は、出血リスクが時に増大するおそれがあるため、本剤との併用についてはさらに慎重に検討し、治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合のみ、これらの薬剤と併用すること。[10.2、15.1.1参照]
8.4 ビタミンK拮抗剤(ワルファリン)から本剤へ切り替える際には、ビタミンK拮抗剤の投与を中止し、PT-INRが非弁膜症性心房細動患者では2.0未満、静脈血栓塞栓症患者では治療域の下限未満となつてから本剤の投与を開始すること。
8.5 本剤からビタミンK拮抗剤(ワルファリン)に切り替える際には、PT-INRが治療域の下限を超えるまでは、本剤とワルファリンを併用すること。
8.6 他の抗凝固剤(注射剤)から本剤に切り替える場合、次回に投与を予定していた時間まで間隔をあけて、本剤の投与を開始すること。ただし、抗凝固剤(ヘパリン等)の持続静注から切り替える場合は、持続静注中止と同時に本剤の投与を開始すること。

その他の注意事項等情報等につきましては、電子添文をご参照下さい。また、電子添文の改訂にご留意下さい。

- 8.7 本剤から他の抗凝固剤(注射剤)へ切り替える場合は、次回に投与を予定していた時間まで間隔をあけて、切り替える薬剤の投与を開始すること。
8.8 待機的手術又は侵襲的手技を実施する患者では、患者の出血リスクと血栓リスクに応じて、本剤の投与を一時中止すること。出血に関して低リスク又は出血が限定的なコントロールが可能な手術・侵襲的手技を実施する場合は、前回投与から少なくとも24時間以上の間隔をあけることが望ましい。また、出血に関して中～高リスク又は臨床的に重要な出血を起すおそれのある手術・侵襲的手技を実施する場合は、前回投与から少なくとも48時間以上の間隔をあけること。なお、必要に応じて代替療法(ヘパリン等)の使用を考慮すること。緊急を要する手術又は侵襲的手技を実施する患者では、緊急性と出血リスクが増大していることを十分に比較考慮すること。
8.9 待機的手術、侵襲的手技等による抗凝固療法(本剤を含む)の一時的な中止は、塞栓症のリスクを増大させる。手術後は、患者の臨床状態に問題がなく出血がないことを確認してから、可及的速やかに再開すること。
8.10 患者の判断で本剤の服用を中止することのないよう十分な服薬指導をすること。本剤を服用し忘れた場合には、気づいたときにすぐに1回量を服用し、その後通常どおり1日2回服用するよう指導すること。服用し忘れた場合でも一度に2回量を服用しないよう指導すること。
8.11 本剤投与中の患者を脅かす出血又は止血困難な出血の発現時に本剤の抗凝固作用の中和を必要とする場合には、中和剤であるアンチキナゼット アルファ(遺伝子組換え)の電子添文を必ず参照し、禁忌、用法及び用量に関連する注意、重要な基本的注意、特定の背景を有する患者に関する注意、副作用等の使用上の注意の記載を確認すること。[1.1参照]
〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
8.12 本剤の投与期間については、症例ごとの静脈血栓塞栓症の再発リスク及び出血リスクを評価した上で決定し、漫然と継続投与しないこと。国内臨床試験において、本剤を6ヵ月以上投与した経験は無い。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
9.1.1 出血のリスクが高い患者(先天性あるいは後天性出血性疾患、活動性の潰瘍性消化管疾患、細菌性心内膜炎、血小板減少症、血小板疾患、活動性悪性腫瘍、出血性脳卒中の既往、コントロール不良の重度の高血圧症、脳・脊髄・眼科領域の最近の手術歴等を有する患者) [出血の危険性が増大するおそれがある。][1.1参照]
9.1.2 低体重の患者
出血の危険性が増大するおそれがある。[1.1参照]
9.2 腎機能障害患者
〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制)〉
9.2.1 腎不全(CLCr 15mL/min未満)の患者
投与しないこと。腎不全(CLCr 15mL/min未満)の患者を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。[2.4参照]
9.2.2 腎障害(CLCr 15~50mL/min)のある患者
出血の危険性が増大するおそれがある。[1.1参照]
〈静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制)〉
9.2.3 重度の腎障害(CLCr 30mL/min未満)のある患者
投与しないこと。重度の腎障害(CLCr 30mL/min未満)のある患者を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。[2.5参照]
9.2.4 腎障害(CLCr 30~50mL/min)のある患者
出血の危険性が増大するおそれがある。[1.1参照]
9.3 肝機能障害患者
9.3.1 重度の肝障害のある患者
重度の肝障害のある患者を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。
9.5 妊婦
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。動物実験(ラット、マウス及びウサギ)で胎児への移行が認められている。
9.6 授乳婦
授乳しないことが望ましい。動物実験(ラット)で乳汁中への移行が認められている。
9.7 小児等
小児等を対象とした臨床試験は実施していない。
9.8 高齢者
一般に腎機能が低下し本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。非弁膜症性心房細動患者に対して本剤を投与する場合、特に80歳以上の患者に対しては、腎機能低下(血清クレアチニン1.5mg/dL以上)及び体重(60kg以下)に応じて本剤を減量すること。[7.1、16.6.3参照]

10. 相互作用

本剤は、主にCYP3A4/5によって代謝される。また、本剤はP-糖蛋白及び乳癌耐性蛋白(BCRP)の基質となる。[16.4、16.5参照]
10.2 併用注意(併用に注意すること)
アゾール系抗真菌剤(フルコナゾールを除く)(イトラコナゾール、ボリコナゾール等)、HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル等)[16.7.1参照]、マクロリド系抗菌薬(クラリスロマイシン、エリスロマイシン等)、フルコナゾール、ナプロキセン、ジルチアゼム[16.7.2、16.7.3参照]、リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン、フェニバルビタール、セイヨウオトギリシウ(St. John's Wort、セントジョーンズワート)含有食品[16.7.4参照]、血小板凝集抑制作用を有する薬剤(アスピリン、クロピドグレル硫酸塩、チロフィドール、チクロピジン硫酸塩、シロスタゾール、オザグレラトリウム等)[8.3、15.1.1参照]、抗凝固剤(ワルファリンカリウム、未分画ヘパリン、ヘパリン誘導体、低分子ヘパリン、エニキサパンナトリウム、フォンダパリヌクサナトリウム、タビゴランエチキシルアトメタナソルホン酸塩、アルガトロン(水和物等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA等)、非ステロイド性消炎鎮痛剤(ジクロフェナクナトリウム、ナプロキセン等)、デフィロチドナトリウム[16.7.3、16.7.5参照]

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

- 11.1 重大な副作用
11.1.1 出血
頭蓋内出血(頻度不明)、消化管出血(0.6%)、眼内出血(0.3%)等の出血があらわれることがある。[8.1参照]
11.1.2 間質性肺疾患(頻度不明)
咳嗽、痰、息切れ、呼吸困難、発熱、肺音の異常等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。間質性肺疾患が疑われた場合は投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
11.1.3 肝機能障害(頻度不明)
AST、ALTの上昇等を伴う肝機能障害があらわれることがある。
11.2 その他の副作用
その他1%以上認められた副作用として、眼出血、鼻出血、歯肉出血、胃腸出血、消化不良、便潜血陽性、血尿、尿中血陽性、挫傷がある。

2022年7月改訂(第4版、再審査結果)

製造販売元 プリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1
文献請求先及び問い合わせ先: メディカル情報グループ TEL:0120-093-507
販売情報提供活動に関するお問い合わせ窓口: TEL:0120-487-200

販売元 ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
文献請求先及び製品の問い合わせ先:
製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467
販売情報提供活動に関するご意見: 0120-407-947

2022年10月作成
432-JP-220057517/ELQ72F004L

PHILIPS

It's not just
compact.
It's compact
without
compromise.

性能を追求したコンパクト
Together, we make life better.

innovation  you

製造販売業者
株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

Compact 5000シリーズ

販売名：超音波画像診断装置 Compact 5000シリーズ
医療機器認証番号：305ADBZ00012000
特定保守管理医療機器
管理医療機器

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. または
その他の会社の商標または登録商標です。
©2023 Koninklijke Philips N.V.

Japan venous Talk 2025
プログラム

大会長：今井崇裕

事務局：西の京病院血管外科センター

TEL: 0742-35-1276 FAX: 0742-35-1158

E-mail: j.venoustalk@k-ips.jp

〒630-8051 奈良県奈良市七条町 95-1 メディカルプラザ薬師西の京 4 階



Save the Date

Vein Week

JAPAN Venous Talk 2026

The time is always right
to do what is right



2026

4/4 9:00 ~ 18:00

会場 | NARA KASUGANO
INTERNATIONAL FORUM 第1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30・31



運営事務局 | 西の京病院血管外科センター
〒630-8051 奈良県奈良市七条町95-1 メディカルプラザ薬師西の京
<http://k-ips.jp/>



0742-35-1276